

あたま 市議会だより

第34号
平成30年
5月10日

次回6月定例会主な日程

- 6月 1日(金) 本会議(議案上程) 10:00～
- 6月14日(木) 本会議(質疑・一般質問) 10:00～
- 6月15日(金) 本会議(質疑・一般質問) 10:00～
- 6月18日(月) 観光建設公営企業委員会 10:00～
- 6月19日(火) 総務福祉教育委員会 10:00～
- 6月21日(木) 本会議(審議採決) 10:00～

※日程は変更になる場合がございます。

- P2～7 平成30年2月定例会 質疑および一般質問(要旨)
- P7～8 議会のはてな?
- P9 討論
- P10～11 平成30年2月定例会 審議結果・各委員長報告
- P12 議会からの報告・お知らせ

平成30年2月定例会について

2月定例会は、2月22日から3月15日まで22日間の会期で開催し、議案36件、報告1件、諮問1件、同意3件について審議し原案のとおり可決等されました。

表紙写真：さくらの名所散策路から

発行 熱海市議会 編集 議会だより編集委員会

〒413-8550 熱海市中央町1-1 TEL 0557-86-6644 FAX 0557-82-7287

E-mail gikai@city.atami.shizuoka.jp

※定例会の内容は、熱海市議会ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。<http://www.city.atami.lg.jp/shigikai/index.html>



米山秀夫 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会

平成30年度一般会計予算※継続費(認定こども園)について
※民泊に対する市の基本姿勢について

質問 ※継続費の事業費21億8千万円の詳しい説明の場を求め、付託委員会で対応ということか。

答弁 付託委員会で詳細を説明する。工事の特殊性から旧日向別邸保存修理工事は事業費が変動することを予想している。

質問 認定こども園の詳細な経費(12億円)についても、その場で示してもらえないか。
答弁 認定こども園の経費については精査が完了するのが3月20日前後になる。そのため、本定例会での詳

しい説明が間に合わず、本意に感じる。各議員には、日を改めて4月13日に認定こども園の設計に関する説明会を開きたいと考えている。



質問 ※民泊に対する市としての基本姿勢をどこに置くか、県条例による制限案なども含めその考え方を尋ねる。

答弁 基本的には法の目的に照らし、事業が推進されていくことが適当であると考えている一方、特に都市部において、住宅宿泊事業に起因した近隣トラブルも発生している。そうした点も踏まえ、本市としては、秩序立った住宅宿泊事業の推進がなされていくことが適当であると考えているところであり、現在示されている県条例案において、住居専用地域等において一定の制限がなされることは適当であると考えている。

大湯間歇泉整備事業について

平成30年度熱海市一般会計予算
公園等建設費について



和田翔平 議員

熱海進政会議員団

◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会



大湯間歇泉

質問 江戸時代の図を参考に景観の再現を行うという事だが、過去には三大間歇泉に数えられるほどの豊富な湯の噴出量を誇っていた。そうであるならば、当時の噴出量などの再現も必要と考えるがいかがか。
答弁 湯の噴出量という点には着目していなかった。今後修景整備を行うにあたり、史跡であること、また周辺環境にも配慮しながら、噴出方法などについて考えていきたい。

質問 現在10箇所ある※市遊休地の活用の募集を6年間行っているが、実績が芳しくないがいかがか。
答弁 募集方法としては、使用用途に制限は設けておらず、事業者側の提案を広く受け付けている。問い合わせは、年間5〜6件程度あるが用途地域や貸付金額が先方の希望に沿わないなどの理由から実現していない。
質問 募集方法の再検討が必要と考えるがいかがか。
答弁 用途地域などは簡単に変更できず、直ちに対応しかねる面もあるが、遊休地に限定した貸付金額の設定など、借り手側に有利な条件の提示などを検討したいと考えている。

※___で表記されている言葉については、P7・8の解説を御参照ください。

【質問】 本市の地震に対する備えとして、災害応急仮設住宅はどこに設置され、福祉避難所の状況はどのようになるのか。避難所へのペットなどの※同行避難はどのようにできるのか。また、備蓄食料の状況及び外国人や来遊客の避難の際の対応はどのように考えているのか。

【答弁】 仮設住宅は泉公園及び西部コミュニティ広場を建設予定地と考えている。福祉避難所は市内の特別養護老人ホーム3施設と伊東市の障がい者入所施設2施設の計5施設と提携している。ペット

【質問】 3月15日から※民泊事業者の届出が開始され、6月15日より住宅宿泊事業法が施行される。防火、騒音、ゴミ出しなどの生



活環境の悪化などが想定されるが、市としてトラブル防止のルール作りはどうするのか。また、※民泊が実施されることにより、旅館・ホテルなどに影響は及ばないか。

【答弁】 ※民泊によるトラブルの防止については、関係法令及び国のガイドラインに沿って行われることとなる。旅館・ホテルへの影響については、宿泊ニーズや想定するターゲットが異なることなどから、大きな影響がでることは想定していないが、法施行後の状況をしっかりと注視していきたい。

【質問】 本市の地震に対する備えとして、災害応急仮設住宅はどこに設置され、福祉避難所の状況はどのようになるのか。避難所へのペットなどの※同行避難はどのようにできるのか。また、備蓄食料の状況及び外国人や来遊客の避難の際の対応はどのように考えているのか。

地震防災対策について ※民泊への対応について



金森和道 議員

熱海進政会議員団

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会
(委員長)

総務費について／観光商工費について 教育費について



杉山利勝 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会

【質問】 庁舎建設にシステム建築を採用した理由と建設費用について。

【答弁】 工期の短縮と工事経費の軽減のためで、建設費用は本体、消防通信システム、備品等で16億2千万円。

【質問】 認定こども園は12億円かけて改修する。12億円は駅前広場整備事業と同額。消防法のクリア、使い勝手、有事の際の避難などを考えると新たに建設した方が安くないか。

【答弁】 新たな建設に対して色々考えたが、建設できる適当な候補地がない。

【質問】 熱海市観光協会のホームページ「あたみニュース」の閲覧数は5年間でどのように推移しているか。

【答弁】 平成23年から550万ページビューで推移していたが、平成29年は77

8万ページビューに増加している。

【質問】 現在は※SNSが主流。関東圏で行われるイベントには事前発信も出来るはず。また、関東圏でイベントを打つのであれば関東圏のニュース、新聞地方版に取り上げてもらいたい。

【答弁】 本市の主要市場は首都圏、関東ローカルネットエリアであり、ローカルニュース、新聞地方版での発信が望ましい。課題と捉えている。

【質問】 姫の沢自然の家閉鎖に伴う通学合宿の影響は、どのように利用している小学校もある。学校、地域関係者の意見や要望を伺いながら「どうしたら実施できるか」という視点で課題解決に向けて努めていく。



小森高正 議員

熱海進政会議員団

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
広域行政推進特別委員会

大地震発生後の市民などの避難について ゴミ減量化と環境リサイクルについて

質問 学校などでの集団避難に馴染めない方やペットなどの生活を望む方などの自家用車での当面の避難生活を市としてどのように考えるのか。また、※災害弱者の方々を市役所などの公共施設でも当面の避難者として受け入れるべきと考えるが市の見解を求める。

答弁 熊本地震で多く見られた車両避難だが、避難者の現状把握の難しさ、食料・水の配給の効率性の悪さ、健康状況の悪化などの問題点がある。避難所

所、規定がない所など様々だが、避難者に寄り添った避難所運営を心掛けたい。大規模災害発生時には、市民や帰宅困難者が庁舎に避難してくることも想定し、隣接する公共施設等を含め一時避難場所として開放できるスペースを確保できるように対応したい。

質問 市民の皆さんの提案により、新たに雑がみ回収ボックスが設置されリサイクルの取り組みが実施されている。この雑がみなどの資源となる物のリサイクルを市全体で取り

組むべきだと考えるがいかがか。
答弁 紙類を例に取ると、通常の回収、雑がみ回収、資源ごみ回収など、多くの事業者団体の皆様に資源化に取り組んでもらっている。資源化を促進し、ごみ減量化を進める第一歩が、ごみ有料化とするなら、一層の分別の徹底、可燃ごみの40%以上を占める紙の資源化を進め、ごみを減量することが第2ステップ。今後よりリサイクルだけでなく※リデュース、※リユースを推進していく。

認定こども園について ※地域サロンについて



越村 修 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
広域行政推進特別委員会
(委員長)

質問 第二小学校では、外壁や認定こども園の改修など工事が集中するが無理な工程にならないか。

答弁 工程や工法を施工者と考え児童の学校生活への支障を可能な限り少なくする。

質問 人口減少社会を迎える本市において、歳入に見合った歳出が必要だが、事業経費12億円は妥当か。

答弁 当初の費用と乖離した事は事実だが、利用する子どもと保護者の満足度を上げる施設とすべく取り組み。

質問 過去には、事業費が大幅に増加した例があるが12億円で収まる担保は。

答弁 継続費の上限を議会に約束するもので、これを上回るようなことは一切考えていない。併せて、工事費の縮減を図っていく。

質問 ※地域サロンの課題は何か。

答弁 後継者不足やマンネリ化による継続性、交通手段を使わずとも気軽に集まる場所はまだまだ十分とは言えず、新たな場所の確保と活性化が不可欠である。

質問 現在活動中のサロンは、23力所のうち常設が七尾地区と中野地区の2カ所と少なく、市内中央にはない。今後サロンを増やす上で担い手や、施設整備が進む予算となっているか。

答弁 歩いていける場所にあることが理想と考えており数は十分とは思っていない。今回初めて予算計上し、立ち上げなどの後押しになればと考えている。

質問 運営事業費における会場使用料、家賃などが年間5万円と非常に少ないが、増額等を検討できないか。

答弁 今後、効果検証し判断する。

※ ____ で表記されている言葉については、P7・8の解説を御参照ください。



稲村千尋 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
(副委員長)
公共施設整備等特別委員会

住み良い高齢者の街づくりについて
熱海市の子育てについて

質問 本市はバス路線の無い地域にお住まいの高齢者等のために、外出支援バスの運行を試験的に実施した。しかし利用者が少なく中止。今後、外出支援事業を行うつもりはないか。

答弁 市内の公共交通会議も開催しながら、交通不便地域についてどのような対策があり得るか、地域の皆様とも協働して取り組んでまいりたい。

質問 市はこれまで二度の外出支援策の試行運転を実施。どちらも路線を決めての運行

で利用は低調。私はこれまでタクシーを利用しての外出支援を提案してきた。私の提案を真剣に検討していただけるか。

答弁 移動の利便性向上に取り組んでいく。

質問 静岡県がひとり親世帯を対象にした生活実態調査の結果から、経済的支援以外に望むことに「放課後の学習支援」を挙げた人が半数を占めた。富士市では小3を対象に全27校で放課後週1回学習支援を実施。希望者が多くボランティアの先生が足りない状況。

今後、本市は放課後学習支援にどのように取り組まれるのか。

答弁 現在、本市では土曜日学習支援を展開している。小6と中3で学習塾に通っていないが、強い学習意欲を持つ者を対象者としてしている。放課後まで広げられるか、需要があるかなどを総合的に勘案する。



熱海高校のさらなる魅力向上について
生涯学習について／子育てについて

質問 今後の生徒獲得数を増やす手立てを市先導で講じることが急務と考えるが、何か提案できる事は。

答弁 大変重要な事と認識する。魅力を向上させ選ばれる高校となっていくようさらなる具体的な取り組みを検討し、市は地域と共に支援する。

質問 市民サービスのため、貸館施設の窓口の一本化はできないか。

答弁 施設管理業務の効率化のためにも有効な一策と思うが困難もある。まずは空き状況の確認予約が行えるネットワーク環境作りについて検討を進める。

質問 生涯学習の案内冊子。予算をつけてもっと見やすい物にできないか。

答弁 企画内容の充実を図る事で市民の耳目を引くものにするよう努める。

質問 昨夏の中学生海外派遣事業。当初の募集人数に足りなかった。これら問題点を踏まえて来年度はどの様な検討をしていくのか。

答弁 研修期間、費用、研修先などについて一部見直す必要がある。

質問 広報に載せた今までの体験記をまとめて見る事はできないのか。

答弁 今後まとめて閲覧可能にするなど、資料として活用できるようにする。

質問 ※ママフレ。知りたい情報が網羅されていない。改善の予定はあるか。

答弁 限られた人材で運営しなければならぬ現状においていかに効率的な方法で充実を図っていくべきか検討する。



泉明寺みずほ 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
(副委員長)
広域行政推進特別委員会



田中秀宝 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
(委員長)

公共施設整備等特別委員会

子どもと高齢者政策の財源について 保証人の確保について

質問 子どもと高齢者に特化した政策を実行するため、基金の設置を提言する。財源は、市民税の均等割を年間個人500円、法人5千円増額する。月にした場合、個人で40円、法人では400円の負担で約2,600万円の財源確保が可能であるが、市長の見解を。

回答 子どもと高齢者を対象とする政策のための財源確保の必要性については共感するところであり、新たな基金の創設も興味深く伺った。公共サービス

の質を確保していく財源確保のあり方について

て研究を深めさせていただければと考えている。

質問 住居や医療、奨学金など、あらゆる生活を営むなかで、保証人を求められるが、現実に保証人を立てられない方が存在する。今後、高齢化が進むと対象者が増大することが予想される中で、本市として社会福祉協議会を活用し、保証人の確保問題を解消するべきと思うが。

回答 保証人の確保は今後さらに増大していく可能性のある問題と認識している。社会福祉協議会などで支

援事業を行っている事例もあり、そうした場合、一般財源の中で配分していく場合が通常だが、ご提案のように基金を創設し予算を組んでいくこともひとつの手法。既にある地域福祉基金との関係などや財源確保の検討も踏まえて研究させていきたい。



消防第2分団詰所の移転改築を1日も早く実現を求め 熱海の名を世に広めた江戸時代の偉人の顕彰碑などの設置を

質問 消防団第2分団詰所は来宮駅近くの急傾斜地に、私が議員に初当選した昭和50年に建設され、経年による老朽化が進み、耐震診断を行うまでもなく耐震性に欠け、1日も早い移転改築が求められてきたが、平成30年度中に近隣地への移転改築着手、この実現を求めるが。

回答 議員の指摘も踏まえ、公共施設アクションプランで示した時期に関わらず、来宮駅周辺の市有地を念頭に置きつつ、庁内での移転・建替えに必要な検討を加速し、平成30年度、できる限り速やかに結論を得たいと考えている。

質問 熱海市史に、1604年徳川家康が子ども2人と共に熱海で7日間湯治をしたと特記されており、当時熱海の名を江戸で広め

た。家康来熱四〇〇年委員会委員長名で家康が通ったとされる芹沢書店近くの御成橋を、家康公の歴史遺産として整備を市に求められきたがその対応を。

回答 議員ご案内の通り、慶長2年と慶長9年の2度訪れている。こうした熱海への湯治の際に渡ったと言われている橋が「御成橋」である。家康の記録に関するものとしては、下流側の欄干に家康が詠んだ俳句のプレートが設置されているが、橋の全体が家康と熱海の歴史を感じさせるには、現状では十分と言いがたいと思っ



御成橋



山田治雄 議員

熱海進政会議員団

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
(委員長)
公共施設整備等特別委員会

※ ____ で表記されている言葉については、P7・8の解説を御参照ください。



高橋幸雄 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会
(副委員長)

人口政策について

【質問】 総務省は、平成29年中の人口移動に関する報告を公表し、本市は転入超過となっている。齊藤市長が就任してからの各年代の推移などで特徴的なことは何か。

【回答】 平成18年と平成29年の人口数値を比較すると、総数で4,167人減少している。なかでも年少から生産年齢人口の各区分で減少しているが、65歳以上の老年人口は各区分において増加しており、なかでも、後期高齢化の進展が著しいという特徴が見られる。

【質問】 後期高齢化が進展していることで、平成30年度当初予算に影響が出ていると思うが、その状況と留意点について。

【回答】 当初予算上の影響は、介護保険事業特別会計では、7.5%の増加、後期高齢者医療事業特別会計が12.9%増加している。今後の留意点は、増加した特別会計の運営は、保険料収入が根幹にあるので、保険料を納入し後期高齢化を下支えする、働き世代の減少に歯止めをかけるため、若年層の流出を防ぐこと、働き世代の流入を促進する必要がある。

【質問】 後期高齢化が進展していることで、平成30年度当初予算に影響が出ていると思うが、その状況と留意点について。

【回答】 当初予算上の影響は、介護保険事業特別会計では、7.5%の増加、後期高齢者医療事業特別会計が12.9%増加している。今後の留意点は、増加した特別会計の運営は、保険料収入が根幹にあるので、保険料を納入し後期高齢化を下支えする、働き世代の減少に歯止めをかけるため、若年層の流出を防ぐこと、働き世代の流入を促進する必要がある。



※ ____ で表記されている言葉については、P7・8の解説を御参照ください。

議 会 の は て な ?

P2 継続費

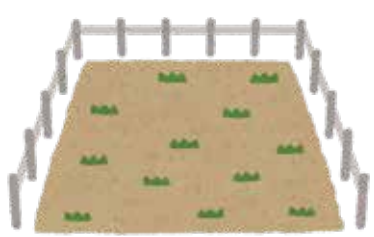
建設事業など、完成までに複数の年度を要する事業にかかる経費について、あらかじめ議会の議決を得ることで、数年度にわたる支出が認められた経費のこと。国や地方自治体における単年度予算主義の例外。

P2 民泊

旅行者などが、一般の民家に宿泊することを一般的に意味する。特に、宿泊者が対価を支払う場合に用いられる。

P2 市遊休地

市が所有している活用されずに放置されている土地のこと。





質疑・一般質問の用語説明

各議員の質疑・一般質問記事の中で※ _____ で表記されている言葉についての説明です。

P3 同行避難

災害時に、飼い主とペットが同行して安全な避難場所まで避難すること。避難所内でも一緒に過ごすことが出来ることを「同伴避難」と言う。



P3 SNS

ソーシャルネットワークサービス(Social Networking Service)の略。人同士のつながりを電子上で行う様々な機能をもった登録制のオンラインサービス。パソコンやスマートフォンで閲覧・利用することができ、フェイスブックやツイッター、インスタグラムなどがある。

P4 災害弱者

災害発生時、自力での避難が困難であり、避難行動に支援を要する人々のこと。避難行動にハンディキャップを持つ、障がい者や病人、怪我人、妊婦。危険を察知する能力が困難な子どもや認知症の人、危険を知らせる情報を理解することが困難な外国人などが該当する。

P4 リデュース

ごみの量を減らすこと。

P4 リユース

一度使用したものを再使用すること。

P4 地域サロン

高齢者の介護予防、生きがいづくり、閉じこもりの予防を目的としたもの。地域で気軽に参加できる場所で、昔からの知り合い、新しい仲間と趣味活動や体操をしながら支えあえる地域づくりを行っている。



問い合わせ：長寿介護課長寿支援室

電話：0557866325

P5 ママフレ

熱海市で開設している、育児に関する各種行政サービスの情報を発信する子育て応援サイトのこと。
子育て関連施設や相談窓口のご案内のほか、救急時の連絡先や地域のイベント情報など掲載中。
ママフレ内のアプリ「子育てタウン」には、予防接種ノート機能やカンタン母子手帳機能もある。

問い合わせ：健康づくり課健康づくり室

電話：0557866294

社会福祉課 子育て支援室

電話：0557866351

ママフレアプリQRコード



for android



for i-phone

こちらからアクセスを！

議案第1号 平成30年度熱海市一般会計予算

反 対 米山秀夫議員

第2表継続費の「認定こども園改修工事」総額12億円について、事業の必要性は理解する。2カ年にわたる事業に12億円の事業費を計上するわけなので、市当局は事業費について詳しく説明できなければならないが、その説明を聞くことはなかった。教育委員会が中心になって事業の必要性、地域住民や関係者への工事中にかかる説明、今後のスケジュールなど何度も丁寧に説明してきている姿を見ているので、この事業をスムーズに推進したいと願う一人である。だからこそ一番大切な事業費について市民への説明と理解が得られなければならないと考える。3月15日現在では工事費の精査が終わっていない。議会への説明は4月13日ということ。市民に説明できないことに賛成できないため、反対をする。

賛 成 山田治雄議員

施政方針で述べられた「住まうまち熱海づくり」を加速するとともに、持続的発展のための礎づくりに着手する年と標榜するとおり、積極的な予算計上がなされている。内容を見ると、長年の懸案事項であった南熱海支所・消防署南熱海出張所改築事業や認定こども園開設事業費をはじめ、各小学校校舎等改修経費など集中的に改築、修繕などに取り組む内容となっており、将来を展望した予算編成がなされている。特にこの当初予算に計上されている継続費12億円の「認定こども園改修工事」については、引き続き丁寧な説明と円滑な事業執行に努めるよう要請するが、将来を担う子どもたちのための必要な事業であるとの認識から、賛成するもの。また、本会議場にて私が質疑した第2分団詰所の早期改築や非正規職員の処遇改善について早急の対応を求める。

議案第11号 平成29年度熱海市一般会計補正予算(第6号)

反 対 米山秀夫議員

第2表繰越明許費のうち、(仮称)あたま認定こども園改修工事監理業務委託10,918千円について、平成29年度当初予算額61,560千円の内訳に、繰越明許費10,918千円については予算措置がない。改修工事監理業務委託は、工事が30年度からとなったために繰り越すものと説明があるが、工事そのものが29年度にはない。工事が始まらなければ執行できない業務で、29年度に契約を締結する必要がない。工事監理業務委託は未契約のため3月31日までに契約を締結し業務を執行しなければならない、契約行為とその業務内容の間に矛盾が生じる。以上のことから、この繰越明許費は必然性に欠け、会計年度独立の原則に対する例外の要件を満たさないため、認められない。

賛 成 山田治雄議員

主な補正内容は国庫補助対象道路改良事業をはじめとした減額補正などの一般会計全般にわたる計数整理がなされている。また、繰越明許費の中には認定こども園改修工事に伴う、(仮称)あたま認定こども園改修工事監理業務委託の繰越明許費も含まれており、この事業の必要性を認めるもの。他の補正予算についても、いずれも適正に計上されているものと認め賛成するもの。

●2月定例会 議決結果(本会議)

〈市長提出の議案等〉

件名	議決結果	件名	議決結果
議案第1号 平成30年度熱海市一般会計予算	可決(多数)	議案第21号 熱海市空家等対策の推進に関する条例	可決(全員)
議案第2号 平成30年度熱海市国民健康保険事業特別会計予算	可決(全員)	議案第22号 熱海市特別職の職員で非常勤のものに対する報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第3号 平成30年度熱海市駐車場事業特別会計予算	可決(全員)	議案第23号 熱海市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第4号 平成30年度熱海市離島初島簡易水道事業特別会計予算	可決(全員)	議案第24号 熱海市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第5号 平成30年度熱海市介護保険事業特別会計予算	可決(全員)	議案第25号 熱海市積立基金条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第6号 平成30年度熱海市初島漁業集落排水処理事業特別会計予算	可決(全員)	議案第26号 熱海市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第7号 平成30年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決(全員)	議案第27号 熱海市手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第8号 平成30年度熱海市水道事業会計予算	可決(全員)	議案第28号 熱海市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第9号 平成30年度熱海市下水道事業会計予算	可決(全員)	議案第29号 熱海市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第10号 平成30年度熱海市温泉事業会計予算	可決(全員)	議案第30号 熱海市介護保険条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第11号 平成29年度熱海市一般会計補正予算(第6号)	可決(多数)	議案第31号 熱海市都市公園条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第12号 平成29年度熱海市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)	議案第32号 熱海市立学校設置条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第13号 平成29年度熱海市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)	議案第33号 熱海市消防手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第14号 平成29年度熱海市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)	議案第34号 熱海市指定金融機関の指定について	可決(全員)
議案第15号 平成29年度熱海市初島漁業集落排水処理事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)	議案第35号 市道路線の認定について	可決(全員)
議案第16号 平成29年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)	議案第36号 市道路線の廃止について	可決(全員)
議案第17号 平成29年度熱海市水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)	報告第1号 専決処分の報告について(交通事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について)	報告
議案第18号 平成29年度熱海市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全員)	同意第1号 固定資産評価員の選任について	同意(全員)
議案第19号 平成29年度熱海市温泉事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)	同意第2号 教育長の任命について	同意(多数)
議案第20号 熱海市児童発達支援センター条例	可決(全員)	同意第3号 教育委員会委員の任命について	同意(全員)
		諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし

2月定例会 賛成・反対が分かれた議案等(本会議)

議員名・会派名 議案番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	議決結果
	山田治雄 進政	金森和道 進政	小森高正 進政	和田翔平 進政	井沢共一 共産	米山秀夫 梁山泊	泉明寺みずほ 梁山泊	田中秀宝 梁山泊	欠員	越村修 成風	竹部隆 成風	川口健 成風	杉山利勝 成風	高橋幸雄 成風	稲村千尋 成風	
議案第1号	○	○	○	○	欠	×	×	○		○	○	-	○	○	○	可
議案第11号	○	○	○	○	欠	×	×	○		○	○	-	○	○	○	可
同意第2号	○	○	○	○	欠	×	退	○		○	退	-	○	退	○	同

議長(12番 川口健)は採決に加わりませんので、「-」で表示してあります。可否同数の場合は、議長裁決になります。
 議決結果 可=原案可決 同=原案同意 採決結果 ○=賛成 ×=反対 欠=欠席(遅刻、早退を含む) 退=退席
 会派名 成風=熱海成風会 進政=熱海進政会議員団 梁山泊=自民党・公明党・女性の会 熱海梁山泊 共産=日本共産党

委員長報告

●観光建設公営企業委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
議案第1号 議案第17号 議案第3号 議案第18号 議案第4号 議案第19号 議案第8号 議案第21号 議案第9号 議案第22号 議案第10号 議案第31号 議案第11号 議案第35号 議案第13号 議案第36号	可決(全会一致)	議案第1号平成30年度熱海市一般会計予算内の、静岡DC推進関連事業経費や熱海型別荘コンシェルジュ業務経費、リノベーションまちづくり・創業支援業務経費などや、議案第8号平成30年度熱海市水道事業会計予算内、老朽施設の改築更新のための送配水管布設替工事など、他の付託議案とともに必要な措置と認める。

●総務福祉教育委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
議案第2号 議案第24号 議案第5号 議案第25号 議案第6号 議案第26号 議案第7号 議案第27号 議案第12号 議案第28号 議案第14号 議案第29号 議案第15号 議案第30号 議案第16号 議案第32号 議案第20号 議案第33号 議案第23号 議案第34号	可決(全会一致)	議案第20号熱海市児童発達支援センター条例については、心身の発達に支援を必要とする児童の心身の健やかな育成を図るために熱海市児童発達支援センターを設置することから制定しようとする条例。議案第28号熱海市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例については、子育て世代の家庭に対する経済的負担の軽減のため、医療費の助成の対象となる子どもの年齢要件を18歳に拡大することなどから所要の改正をしようとするもの。他の付託議案とともに必要な措置と認める。
議案第1号 議案第11号	可決(賛成多数)	議案第1号及び議案第11号のうち、認定こども園改修工事などについて、内容が十分に示されず予算審議ができないなど、厳しい指摘があったが、必要な措置と認める。

●広域行政推進特別委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
議案第1号	可決(全会一致)	必要な措置と認める。

●公共施設整備等特別委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
議案第1号	可決(全会一致)	必要な措置と認める。

議員研修会を開催しました

1月30日、起雲閣にて伊東市議会と合同の議員研修会を開催しました。

テーマは「地方議会・議員の役割と権限 一期待される機能発揮を目指して―」、講師には元全国都道府県議会議長会事務局次長、鶴沼信二氏をお迎えしました。

地方議会議員の役割と権限、地方議会や議員一人ひとりが機能を発揮するにあたっての問題点や課題を分かりやすくお話しいただきました。



熱海・箱根・湯河原広域行政推進協議会 観光展を開催しました

2月8日、横浜新都市プラザにて、各市町の観光客集客のため観光展を開催しました。パンフレット・チラシなどの配布、宿泊券や施設優待券などの賞品が当たる抽選会を行いました。



熱海市議会定例会(臨時会)

会議録の閲覧について

会議録（会議の内容、経過を記録した文書）は、次回定例会開会日を目処に作成いたしております。熱海市立図書館にて閲覧ができます。また、熱海市議会ホームページからも検索ができます。

議会を傍聴しませんか

市議会では本会議や委員会の傍聴を受け付けています。手続きは簡単ですのでお気軽にお越しください。

●本会議

会議の開催当日に、市役所第3庁舎3階エレベーター横の傍聴受付までお越しください。傍聴券を発行します。

●委員会

各委員会の開催当日に市役所第3庁舎2階議会事務局までお越しください。



議会情報をチェック!



熱海市議会ホームページでは、議会の日程、会議記録や録画配信など、市議会の情報が満載です！インターネットを利用できる方はどなたでもご覧いただけます。最新の情報や、過去の会議で気になる情報がある方は、ぜひパソコンやスマートフォンで「熱海市議会」と検索してください！

熱海市議会



次回の市議会だよりは、8月10日発行予定です。

<議会だより編集委員会> 委員長：越村 修 副委員長：井沢 共一
委員：杉山 利勝・和田 翔平・泉明寺みずほ